



# いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.46

平成29年5月1日発行

新湊博物館にて、「追悼展 郷倉和子80年のあゆみ」開催中です。(6月25日まで)



▲ 郷倉和子 作「庭の一隅」(一部使用) 射水市所蔵

## 市議会のひびき

### 2月

- 6日 議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会
- 21日 議会運営委員会  
全員協議会  
議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会

### 3月

- 28日 **【定例会】**  
議会運営委員会、本会議  
全員協議会
- 6日 本会議(代表質問)  
議会運営委員会
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)  
議会基本条例に関する  
特別委員会

### 4月

- 23日 議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会
- 17日 議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会  
本会議、議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会
- 15日 予算特別委員会
- 14日 産業建設常任委員会
- 13日 民生病院常任委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 9日 予算特別委員会  
全員協議会  
議会広報編集委員会
- 27日 議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会
- 19日 議会基本条例に関する  
特別委員会専門部会
- 18日 民生病院常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会
- 13日 議会広報編集委員会
- 12日 産業建設常任委員会

# 3月定例会

## 平成29年度射水市一般会計予算など27議案を可決しました。

2月28日～3月17日までの18日間の会期で開催し、議案27件のほか、報告2件、諮問3件を審議しました。結果は次のとおりです。

### 議決結果一覧表（平成29年3月射水市議会定例会）

#### [議案]

番号	件名	結果
第1号	平成29年度射水市一般会計予算	可決
第2号	平成29年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第3号	平成29年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第4号	平成29年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第5号	平成29年度射水市水道事業会計予算	可決
第6号	平成29年度射水市下水道事業会計予算	可決
第7号	平成29年度射水市病院事業会計予算	可決
第8号	平成28年度射水市一般会計補正予算（第5号）	可決
第9号	平成28年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
第10号	平成28年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	可決
第11号	平成28年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
第12号	平成28年度射水市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
第13号	射水市いきいき長寿館条例の制定について	可決
第14号	射水市子ども子育て総合支援センター条例の制定について	可決
第15号	射水市農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について	可決
第16号	射水市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	可決
第17号	射水市個人情報保護条例等の一部改正について	可決
第18号	射水市市税条例及び射水市市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決

番号	件名	結果
第19号	射水市ふれあいサロン条例の一部改正について	可決
第20号	射水市児童館条例の一部改正について	可決
第21号	射水市消防団条例の一部改正について	可決
第22号	射水市統合庁舎建設基金条例等の廃止について	可決
第23号	財産の取得について	可決
第24号	不動産の処分について	可決
第25号	射水市立歌の森小学校大規模改造第Ⅰ期（建築主体）工事請負契約について	可決
第26号	射水市立小杉南中学校大規模改造第Ⅰ期（建築主体）工事請負契約について	可決
第27号	指定管理者の指定について（コミュニティセンター15施設）	可決

#### [報告]

番号	件名	結果
第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第2号	専決処分の報告について	—

#### [諮問]

番号	件名	結果
第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

#### 【議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載】

議員名	瀧田 孝吉	島 正己	中村 文隆	澤村 理	山崎 晋次	石黒 善隆	不後 昇	吉野 省三	伊勢 司	津田 信人	堀 義治	古城 克實	赤江 寿美雄	菊 民夫	奈田 安弘	高橋 久和	竹内 美津子	高橋 賢治	四柳 允	小島 啓子	横堀 大輔	津本 三男
議案 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×
議案 第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×
議案 第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×
議案 第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×
議案 第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×
議案 第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

常任委員会ごとに、所管事業の視察を行いました。  
また、各部局から、今年度の事業について説明を受けました。

## 総務 文教 常任委員会

### 防災・教育

4月18日、平成26～28年度にかけて整備、28年9月から運用を開始した『防災行政無線設備』のほか、児童数の増加に対応するために整備した『作道小学校区放課後児童クラブ室』、昨年12月に竣工した『放生津分団屯所』を視察しました。



▲ 防災行政無線ホーンアレイスピーカー



▲ 作道小学校区放課後児童クラブ室

## 民生 病院 常任委員会

### 生活・医療

4月19日、平成29年1月に竣工した『作道コミュニティセンター』のほか、高齢者が気軽に集い、活動できる場として4月1日から開館した『いきいき長寿館』（旧新湊中学校武道館）、妊娠、出産から子育て期にわたって切れ目のない相談・支援を行う『キッズポートいみず』（旧大門庁舎）を視察しました。



▲ キッズポートいみず



▲ いきいき長寿館

## 産業 建設 常任委員会

### 産業・ライフライン

4月13日、大門・大島地区で整備を行っている『雨水幹線整備事業』のほか、広域的な防除機能を有する『産業用無人ヘリコプター』を視察しました。

また、青井谷地内の立神下堤周辺では、『有害鳥獣対策』のため設置した檻や恒久柵、『農村地域防災減災事業』により整備した、ため池の安全管理施設（救命ロープ、啓発看板等）を視察しました。



▲ 大門大島雨水幹線整備事業施工箇所



▲ 有害鳥獣対策用檻

## 代表質問

- ①平成29年度予算編成について
- ②安全、安心に関する政策について
- ③地域包括ケアシステムの進捗状況について
- ④有効な土地利用の推進について
- ⑤国の農業政策転換に伴う施策について



【自民議員会】  
伊勢 司 議員

**問①▶▶▶** 29年度予算編成における基本的な考え方及び代表的な重点施策について伺う。

**答▶▶▶** 高齢化の進展に伴い社会保障費の一層の増が見込まれる一方、歳入面では普通交付税の合併算定替による特例措置が7割にまで縮減するなど厳しい財政状況を踏まえ、財源確保に総力を挙げて取組みつつ、第2次総合計画の着実な推進を図った。「子育てや学びがもっと楽しくなるまち射水」という高い理想を掲げ、若い世代が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを更に推し進めていく。併せて、移住や定住に係る支援や市民の健康寿命の延伸に向けた取組の一層の拡充など「未来世代が輝く事業」を引き続き展開することにより、射水市の更なる発展については人口減少の克服につなげていく。

**問②▶▶▶** 安全、安心に関する政策のうち防犯カメラの設置状況について伺う。

**答▶▶▶** 地域の防犯対策として、市と県による補助を活用し、各自治会等で設置した防犯カメラは、平成26年度からの3年間で合計48台である。射水警察署管内の刑法犯認知件数は、平成18年の824件から28年には430件に減少しており、中でも自転車盗難件数が、平成18年の188件から28年には42件と大幅に減少していることは、地域の防犯パトロールのほか、防犯カメラ設置が犯罪抑止に効果があったものと思われる。市としては平成29年度も補助を実施する予定としている。

**問③▶▶▶** 地域包括ケアシステムにおける認知症施策の取組状況について伺う。

**答▶▶▶** 認知症高齢者を地域で支える体制整備が重要であり、サポーター養成講座や予防講演会などを開催し、啓発に努めているほか、家族の介護負担軽減を

図る取組を行っている。本年6月頃には、認知症と疑われる高齢者を適切な医療・介護につなげ、重度化を防止するため、認知症初期集中支援チームを地域福祉課内に設置することとしており、チームで認知症高齢者や家族への支援を行っていく。

**問④▶▶▶** 災害への備えとして、地籍調査の重要性が益々高まっているが、市内の地籍調査の現状と対策について伺う。

**答▶▶▶** 地籍調査事業は、東日本大震災後、災害への備えとして、その重要性や必要性が再認識され、市でも洪水や津波の被害想定区域も含めて調査を進めている。これに加え、空洞化が危惧される市街地での調査や全市にわたる地図混乱地域での調査も重要と考えるが、実施には、地域全体の意欲の高まりや合意形成が必要であることから、地籍調査を推進していくために、引き続き、出前講座等を通じて事業の効果や必要性、地域での推進体制が整うよう啓発に努める。

**問⑤▶▶▶** 平成30年産からの生産数量目標の配分廃止に伴う今後の施策について伺う。

**答▶▶▶** 国の新政策導入により、産地間競争が一層、激しくなることが容易に想定されることから、市としては、射水平野が生み出す生産性・収益性の維持・向上が図られるよう、新政策で反映される経営所得安定対策や経営体への育成支援対策等の動向に注視し、的確な情報の発信と円滑な新政策への移行のための指導や支援に努め農業の振興を図っていく。

### その他の質問

- とやま呉西圏域連携中枢都市圏について
- 学校教育の充実について
- 第2次環境基本計画について
- 市民病院の今後について

## 一般質問

- ①子ども医療費について
- ②保育園について
- ③介護予防の総合事業について



津本 二三男 議員

**問①▶▶▶** 本年4月から、子ども医療費の現物給付の範囲が呉西6市に拡大されたが、受診機会の多い富大付属病院などにも現物給付を拡大し、病院窓口で無料にできないか。

**答▶▶▶** 射水市、富山市相互の保険医療機関等との調整や合意形成が必要と考えており、早期の拡大は難しいが、今後、慎重に合意形成に努めてまいります。

**問②▶▶▶** 本市では、公立保育園に「区域」におけるセーフティネットとしての役割を持たせているが、このことを踏まえ、保護者が希望する地域において入園できると理解してよいか。

**答▶▶▶** 本市では、なるべく保護者が希望される保育園や希望される地域の保育園に入園できるよう努めているが、産休・育休明けなどによる年度途中の入園に際しては、必ずしも入園できない現状にある。その場合には、希望する保育園への次年

度からの利用申し込みを改めてしていただき、再度入園調整し、希望に沿うよう努めている。平成29年4月時点では、95%以上の方について希望する保育園へ入園決定させていただいている。

**問③▶▶▶** 総合事業については、要介護認定の手続きを踏まず、基本チェックリストの判定によりサービスの利用が可能となるが、このチェックだけでは、真に必要なサービスを受けられなくなる可能性があるのではないか。

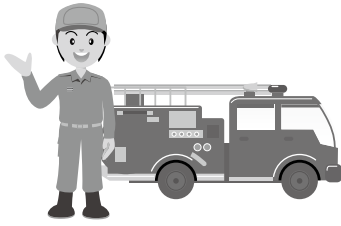
**答▶▶▶** 基本チェックリスト、介護認定のどちらの手続きが適切なのかについて、本人や家族の希望、本人の状態および必要なサービスなどについて十分確認をし、不利益が生じないようにしていきたい。

### その他の質問

- 市民協働と4つの地域コミュニティについて
- 新庁舎建設費について

## 一般質問

### ①防災減災対策について



石黒 善隆 議員

**問①-1)** 庄川下流域の庄西・庄川本町地区の築堤整備が一部未着工であり、豪雨時の氾濫危険度が高い。国・県への要望をどの様に行っているか。また、どの様な回答がなされているか。

**答** 重点要望事項として積極的に要望活動を行っている。築堤には、新庄川橋、万葉線橋梁の架け替えが必要であり、国では県と調整を進めているところである。

**問①-2)** 庄川への河川監視カメラ設置状況及び市民への映像提供について伺う。

**答** 国は河口から砺波市までの区間に11台のライブカメラを設置している。映像は「防災ネット富山」で配信されており、市のHPからもリンクしているが、誰でも容易に見ることが出来るよう、分かりやすい仕組みにしたい。

**問①-3)** 県外の荒川区や稲沢市と災害

時相互応援協定を締結しているが、降積雪がある本市と気候が異なる。北陸地方の自治体との協定を打診してはどうか。

**答** 北陸近隣の場合、車両の冬装備があることや距離的に遠くないことからメリットが大きい。各種災害の発生を想定しながら協定締結の拡充に努めたい。

**問①-4)** 先日公表された県津波シミュレーション調査結果では、前回よりも津波規模が増大したが、市の対応を伺う。

**答** 調査結果を踏まえ、ハザードマップの改定や出前講座の開催に着手する。また、公共施設の解体等により、避難施設が減少する新湊地区には、旧新湊庁舎跡地で整備予定の複合交流施設や旧新湊中学校跡地を、地域住民の避難機能に配慮した施設になるよう関係部署に働きかける。

## 一般質問

### ①五歩一交差点の立体化について

### ②婚活支援事業について



高橋 賢治 議員

**問①** 事業概要及び現在の進捗について伺う。

**答** 事業概要については、事業期間を平成28年度から概ね10年間とし、総事業費約40億円、計画延長1.2キロメートル、幅員40メートル、片側2車線で4車線を立体化する計画であり、期待される効果として、渋滞の解消や交差点内での交通事故軽減と交通の円滑化により、産業、経済活動の活性化が図られるものとする。現在の進捗については、事業に必要な用地の取得は、すでに完了しており、平成28年度は、地質調査、予備設計を実施し、平成29年度は詳細設計を行う予定である。

**問②** 第1回いみずムズムズ婚活パーティの成果を踏まえ、今後の婚活支援事業の取組について伺う。

**答** 今回実施した婚活イベントが

定員を上回る応募があったことから、イベントのニーズは非常に高いと感じる。今後の取組としては、引き続き、射水市婚活サポーターズクラブ会員のスキルアップを図る研修はもとより、サポーターズクラブ主催の婚活イベントを年に1~2回程度実施し、継続的に独身男女の出会いの場の創出に努めていきたい。また、婚活イベント補助金の補助限度額を5万円から10万円に倍増させることとしており、多様な団体が婚活イベントを実施することで、切れ目のない婚活イベントの展開を期待している。

#### その他の質問

●新射水市民病院はどのように生まれ変わろうとしているのかについて

## 一般質問

### ①市内小中学校の通学路について

### ②市ホームページについて



瀧田 孝吉 議員

**問①-1)** 登下校中の事故発生状況について伺う。

**答** 平成28年度中の児童生徒の事故は、2月末時点で小学生が0件、中学生が8件であった。全て自転車乗車中の交通事故で、いずれも被害は軽微であった。

**問①-2)** 通学路緊急合同点検について伺う。

**答** 平成24年度以降、関係機関と連携しながら毎年継続的に行っている。これまで68箇所を実施し、14箇所の危険箇所が改善されたほか、15箇所事業を実施中である。

**問①-3)** 見守り隊に対してベストや帽子が支給されているが、より一層の支援ができないか伺う。

**答** 帽子やジャンパー等を学校から支給しているほか、ボランティア保険にも加入している。今後とも学校や見守り隊の方々との連携強化を図りながら、円滑に

活動できるよう努めていきたい。

**問②-1)** アクセス状況について伺う。

**答** 直近3年間で、平成25年度737,367件、26年度821,064件、27年度865,665件と増加傾向にある。

**問②-2)** 市内にある固定カメラの映像をHPで配信してはどうか。

**答** 興味深いコンテンツを備えることで、市の魅力の発信や観光への誘客につながると考えており、技術的な面を含め検討していきたい。

**問②-3)** スマートフォン対応になっていないことからHPをリニューアルしてはどうか。

**答** 平成27年度に実施した「広報利用に関する市民アンケート」の結果から、より簡単に情報を取得できる環境づくりが必要であるとの認識を持ったところであり、スマートフォンへの対応も含めて検討していきたい。

## 一般質問

- ①子どもの貧困対策について
- ②高齢者が安心して暮らせる環境整備について



小島 啓子 議員

**問①▶▶** ひとり親家庭等の把握と現状について伺う。

**答▶▶** 平成29年2月末現在のひとり親家庭の児童扶養手当受給状況は、満額支給が全体の約3割、一部支給が約5割、残りの約2割は所得が限度額を超えるため支給されない家庭である。29年度に「(仮称) 地域子どもの未来応援計画」の策定に取組むこととしており、ひとり親家庭や小中学生の子どもを持つ家庭を対象にアンケート調査を行い、子どもの生活環境、住まいの状況、健康状態、家庭の経済状態、子どもの置かれている学習環境等について、より詳しい状況把握に努めたい。

**問②-(1)▶** 一人暮らしや高齢者世帯が増加している。その把握と取組状況について伺う。

**答▶▶** 平成28年4月1日現在の65歳以

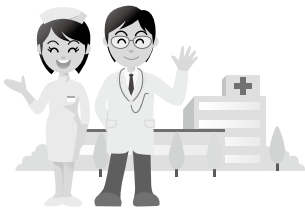
上の一人暮らし高齢者数は4,379名、高齢者世帯数は8,525世帯で、1年間で人数は202名、世帯数は410世帯の増加となっている。また、75歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方等を対象に高齢者実態把握調査を行い、必要に応じて在宅福祉サービスや医療機関等の利用につなげるなど在宅での生活を継続できるように支援している。今後とも関係団体と連携を深め、情報共有を図りながら実態把握と支援に努める。

**問②-(2)▶** 緊急通報装置の貸与など今後の対応を伺う。

**答▶▶** 高齢者の方が安心して生活できるよう、平成29年2月末現在で、170名の方へ緊急通報装置を貸与しており、今後とも利用者増に向けて制度の周知啓発に努める。

## 一般質問

- ①防災の取組について
- ②医療費適正化について



不後 昇 議員

**問①▶▶** 災害発生時の職員の動き及び防災会議委員の女性登用について伺う。

**答▶▶** 災害対応業務は、ほとんどの職員が実際に経験したことがなく、十分な知識や対応力が身につけていない。このため、引き続き訓練や研修を繰り返し、職員の災害対応力向上を図るとともに、避難所は自主防災組織や避難者が主体となって相互に協力し運営できるよう、より一層市民の皆さんへ周知、啓発を図りたい。また、議員ご指摘の避難所対策をはじめとした女性の立場や視点からの意見は重要であり、男女共同参画の観点からも、防災会議委員選任に当たっては十分配慮していきたい。

**問②▶▶** 医療費適正化対策について伺う。

**答▶▶** 本市において、平成28年6月に健康寿命の延伸を目的として、被保険者の

健康課題の分析を行い、保健事業につなげるため、「データヘルス計画」を策定した。この計画は、生活習慣病の重症化予防などを目標とし、課題のある被保険者に対して、家庭訪問及びメタボ予防セミナー教室開催などにより、保健指導を実施している。平成29年度においては、議員からご提案もあった呉市の方式を取り入れ、レセプト(診療報酬明細書)データの分析をノウハウのある民間業者へ委託することで、保健指導対象者の絞り込みを行い、市の保健師による医療機関への受診勧奨や保健指導の効果を、より高め、医療費適正化を図ることとした。指導を実施した後の効果測定もを行い、本市の目指す健康寿命の延伸につなげてまいりたい。

### その他の質問

- 水道ビジョンについて

## 一般質問

- ①介護予防・日常生活支援総合事業について



澤村 理 議員

**問①▶▶** この総合事業には、住民が主体となってサービスを提供する「住民型サービス」が設定され、平成29年度以降、全地区での事業着手を促進するということであるが、「強制なのか」、「全地区一律の助成・人的配置なのか」、「利用者負担が発生するのか」などの疑問の声がある。「住民型サービス」の今後のあり方や展望について伺う。

**答▶▶** 平成28年10月から射水市地域支え合いネットワークモデル事業により、地域住民とともに地域の支え合い体制づくりに取り組んでいる。このモデル事業は、住民が主体となり、住民同士の支え合いの中で、地域の実情に応じた多様なサービスを創出することを目指している。そのため、構成人口の違いや高齢化率の違い

等はあるが、地域振興会圏域を単位として考えている。地域の特性を活かしながら実施形態や利用者負担なども含めて、地域の協議の中で決定し、地域のボランティアの力で実施していくことを想定している。市では、活動時の関係者間の連絡調整を行うコーディネーターの person 費や支え合い活動の運営経費等は、補助金という形で財政的に支援することとしている。また、出前講座での趣旨普及および情報共有並びにモデル事業実施地域の活動報告会を開催するなどの様々な支援に努めていく。

### その他の質問

- 津波シミュレーション調査結果について
- 国民健康保険の県単位化について

## 一般質問

- ①企業誘致と企業団地の今後の方向性について
- ②通学路内踏切拡幅について
- ③防火対策について
- ④子ども医療費の受診拡大について



古城 克寛 議員

**問①▶▶▶** 企業団地の今後の方向性について、市の考え方を伺う。

**答▶▶▶** 適地調査で選定した候補地のうち、既存の企業団地については隣接地に用地を確保し、企業への事業拡大を支援する。新たな企業団地については、企業ニーズを的確に捉えた団地の造成を計画していく。

**問②▶▶▶** 1月27日に国交省から指定を受けた「改良すべき踏切道」2箇所の今後の計画、整備目標について伺う。

**答▶▶▶** 今回指定を受けた踏切について、平成28年度から32年度までの5か年で整備を行うこととされている。越中大門駅構内の「小島踏切」については踏切拡幅が早期に整備されるよう、引き続き県へ要望していく。また「新神楽川踏切」については、万葉線(株)が行う踏切内の整備と合わせて、市

においても歩道の整備を行う予定である。

**問③▶▶▶** 全国的に一人暮らし高齢者の火災による犠牲者が増えている。火災警報器の確認や防火講習などが必要と考えるが本市の対策を伺う。

**答▶▶▶** これまで住宅防火診断を実施するなど防火に対する普及啓発を行っており、今後も消防団員や民生委員、婦人防火クラブの方々の協力を得ながら対策を進めていく。

**問④▶▶▶** 本年4月から、呉西6市に利用が拡大される福祉医療費請求書(ピンクの用紙)について、受診機会が多い富山市にも拡大すべきだと考えるが、見解を伺う。

**答▶▶▶** 射水市、富山市相互の保険医療機関等との調整や合意形成が必要であるとされており、早期の拡大は難しいが、今後、慎重に合意形成に努めてまいりたい。

## 一般質問

- ①プレミアムフライデーの取組について
- ②高齢者や障害者、乳幼児らの利用施設に対する、水害避難計画の義務付けについて



吉野 省三 議員

**問①-(1)▶▶▶** 国からの取組指示や依頼はあったのか伺う。

**答▶▶▶** 産業界では経団連から、地方公共団体については総務省から依頼があった。

**問①-(2)▶▶▶** 市内で実施した企業・団体数について伺う。

**答▶▶▶** 数は把握していないが、市内企業は製造業が大半を占めていることから、様子見の段階ではないかと推測している。

**問①-(3)▶▶▶** 本市の今後の対応を伺う。

**答▶▶▶** ワークライフバランスの実現に向け、年次有給休暇を取得しやすい職場環境の整備を図ることや、官民一体の取組として進める経済効果に着目し、職員に対し、年次有給休暇の取得促進に努める。

**問②-(1)▶▶▶** 市内で避難計画策定が義務づけられる施設数を伺う。

**答▶▶▶** 35施設である。

**問②-(2)▶▶▶** 計画には、避難場所、避難経路、避難誘導方法、情報収集及び伝達などを定めることとなるが、策定にあたっての市の取組を伺う。

**答▶▶▶** 対象となる施設の管理者には、計画策定に必要な施設の浸水想定や国交省の手引き等の情報提供を行い、指導・助言に努める。

**問②-(3)▶▶▶** 要配慮者を施設職員だけで避難させることは困難であり、地域との連携が必要であると考えられるが、見解を伺う。

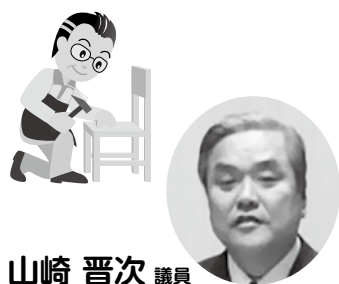
**答▶▶▶** 今回の避難確保計画策定の義務化を契機に、地域の方々が要配慮者を避難誘導し、一方で、施設を避難場所として活用するなど、互いに協力しあえる姿が望ましく、今後とも自治会や町内会、施設の双方へ共助の重要性を伝えていく。

### その他の質問

- 病児保育事業の拡充について

## 一般質問

- ①雨水対策基本計画について
- ②プラチナタウンについて
- ③企業スポーツチームについて



山崎 晋次 議員

**問①▶▶▶** 平成23年に策定した現計画の進捗状況と新たな雨水管理総合計画の策定時期の見通しについて伺う。

**答▶▶▶** これまで片口雨水ポンプ場をはじめとする、13地区の対策を進めてきたところである。さらに現在は、海老江雨水ポンプ場のほか2地区の整備を進め、事業完成の目途が立ったことから、計画の見直しが必要と考えている。雨水管理方針や段階的対策を定める「雨水管理総合計画」として策定することとし、平成29年度から作業に着手、30年度末の策定完了を目指したい。

**問②▶▶▶** 日本版CCRC(生涯活躍のまちづくり)構想の先進事例を参考に射水市版の「プラチナタウン(高齢者が働き、いきいき暮らすまち)構想」が必要と考えるが、当局の見解を伺う。

**答▶▶▶** 「日本版CCRC構想」の具体例を参考に、地方創生における課題への処方箋の一つとして、今後、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性も踏まえ調査研究していきたい。

**問③▶▶▶** 市内企業スポーツチームが出場するハンドボール日本リーグ公式戦において、試合会場となる施設の充実をお願いしたい。

**答▶▶▶** 公式試合に合わせ、防球ネットの設置及びゴールを購入した。今後は、公式戦に対応したシステムカウンター及び退場タイマー購入の検討を進めており、関係団体と相談しながら適切に対処していく。

### その他の質問

- 津波対策について
- 空き家対策について

## 予算特別委員会

議案2件を可決すべきものとなりました。

### ■平成29年度射水市一般会計予算（議案第1号）

歳入歳出の総額をそれぞれ366億7,700万円とする予算です。

**問** 臨時財政対策債について、本市の考え方は。

**答** 臨時財政対策債とは、国が財源を確保し、地方に配分すべき普通交付税について、国の財源が不足していることから、一旦、地方自治体に起債という形で資金を借入れ、後年度において全額交付税措置される制度である。全国には臨時財政対策債を全く借入れない、あるいは上限額いっぱいまで借入れない自治体があることは承知しているが、そのような団体は概ね財政的に余裕があるものと認識をしている。

本市においては毎年度、財源不足の解消を図るため、基金の取り崩しに頼った予算編成を行っており、臨時財政対策債を活用しなければ、将来の財政運営にも支障を来すものとする。

**問** 当市における、平均寿命と健康寿命について。

**答** 平均寿命とは0歳の者が、あと何年生きられるかを示した指標であり、平成24年時点における当市の平均寿命は男性が78.7歳、女性が85.3歳となっている。

また、健康寿命は0歳の者があと何年、自立した状態で生きられるかを示した指標であり、平成24年時点において、当市では男性が76.2歳、女性が80歳となっており、国と比較すると高い数値となっている。

### ■平成28年度射水市一般会計補正予算(第5号)(議案第8号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8億8,492万7,000円を追加し、予算総額を449億459万7,000円とする補正予算です。

【補正予算の主な内容】

- ◎旧小杉庁舎跡地の売払収入
- ◎新湊漁港製氷・貯氷施設及び漁具倉庫の建設への補助

**問** 今後、旧新湊庁舎の跡地利用や既存施設などの統廃合を進める上で、土地価格の適正評価についての基本的な考え方について

**答** 本市では、入札等により土地を売却する際の土地価格は、不動産鑑定士による鑑定評価額を基本としている。

これは、適正かつ客観的な土地価格を設定するためであり、旧小杉庁舎跡地処分においても同様に実施したところである。今後も旧新湊庁舎の跡地利用や既存施設の統廃合を進める上において、土地価格を設定する際には「不動産鑑定評価額」を基本に考えてまいりたい。

**問** 必要な保育士の確保ができなかったことから臨時保育士賃金の減額が示されているが、本市の保育現場の実態と今後の対応について伺う。

**答** 平成29年3月現在、本市の公立保育園における保育士の配置基準は国の基準を満たしている。

しかしながら、障がい児対応や延長保育等のため、手厚く配置する人数を加えると保育士の配置に不足が生じている。本市においてはハローワークや広報、ホームページ等を通じて臨時保育士の募集を行っているが、人員の確保には至っていない状況であり、保育現場では土曜日の出勤や早朝のローテーションなど人員不足への対応に苦慮している現状である。



## 総務文教常任委員会

議案等9件を可決・承認すべきものとなりました。  
所管事務について4件の報告を受けました。

### ■ 射水市消防団条例の一部改正について（議案第21号）

市内に通学する大学生、専門学校生等を「学生消防団員」として採用し、消防団の組織の活性化及び次世代の担い手育成を図る。

また、消防団員の公務災害補償や退職報奨金の支給に関する規定を条例に明文化する。

**問** 学生消防団員の採用は大変良いことだが、何名程度の入団を想定しているのか。また、消防団の活動により一層魅力を感じてもらえるような取組が必要ではないか。

**答** 20名程度の入団を想定しており、県立大学等の教育機関に積極的に働きかけたいと考えている。  
消防団の魅力を高める取組としては、学生消防団員の活動を市が認証し、就職活動を応援する「学生消防団活動認証制度」を創設する。これにより、団員の応募数の増加のほか、地元企業への就職や地元への若者の定着につながればと考えている。

### ■ 旧新湊庁舎跡地の計画的な整備を。

旧新湊庁舎跡地に、観光機能も備えた「公共交通ターミナル」、市の窓口業務を行う新湊地区センター等の公共的機能や地元事業者の事務所等の機能も備えた「複合交流施設」を整備する。

この事業では、建物等の建設、維持管理を民間事業者が行う、いわゆるPPP方式で進めることとしており、民間の資金とノウハウを活用し、効率的・効果的な公共サービスの提供やにぎわいの創出を図る。

◎ 今後のスケジュール ……

平成29年度	事業者の選定
平成30年度	事業者との契約、旧庁舎の解体
平成31年度	事業者による施設整備工事
平成32年度	開業

**問** 旧新湊庁舎跡地の利活用に対する地域住民の期待は大きい。計画的に事業を進め、なるべく早く施設を整備するとともに、面白いアイデアが生かされることを期待する。

**答** スピード感を持ち、計画的に事業を進めたい。  
今後、公募型プロポーザルにより民間事業者を募集し、審査後に事業者を決定することになる。審査に当たっては、審査員と意思疎通を図って適切な審査基準を共有するとともに、この事業を支援するコンサルタントと十分に協議しながら、将来の新湊地区の活性化、定住・交流人口の増加につなげたい。

### ■ 電気自動車用急速充電器の利用を有料化する予定は。

市庁舎の立体駐車場には電気自動車用の急速充電器を設置しており、設置後約5か月間で380回利用されている。

**問** 電気自動車用急速充電器の1回当たりの充電に掛かるコストは。また、将来有料化することも考えているのか。

**答** フル充電ではないが、充電1回当たりの電気料金に換算すると、平均約80円の電気代が掛かっている。現在は無料で充電できるようにしているが、普及促進の観点から直ちに有料化する予定はなく、県内他自治体の状況も参考にしながら、充電する方の負担を求めるべきという考え方が一般的になった時点で有料化したいと考えている。

## ■ 平成29年度射水市介護保険事業特別会計予算（議案第4号）

歳入歳出予算の総額をそれぞれ 92億9,472万6,000円とする予算です。

**問** 4月から総合事業（介護予防日常生活支援総合事業）が始まるが、一般会計の予算には計上されていないので、介護保険事業特別会計として実施するのか。

**答** 総合事業の実施に係る財源はこれまでと同じ介護保険事業特別会計である。

**問** これまでの要支援1、2の部分のサービスが総合事業に移行することだが、介護保険事業全体としてはどのようなになるのか。

**答** 介護保険給付には、要介護1から5までの方の介護給付、要支援1から2までの方の介護予防給付、その他にもう一つ、地域支援事業がある。要支援1、2の人のデイサービスとホームヘルプサービスについては、介護予防給付から外れ、地域支援事業という市の独自性を生かした取組へ移行することになる。

## ■ 射水市子ども子育て総合支援センター条例の制定について（議案第14号）

## ■ 射水市ふれあいサロン条例の一部改正について（議案第19号）

## ■ 射水市児童館条例の一部改正について（議案第20号）

旧大門庁舎を改修し、射水市における子育て支援体制を更に充実することを目的として、子ども子育て総合支援センター（キッズポートいみず）を設置するため、新たに条例を制定するものです。

これにより、大門児童館を射水市子ども子育て総合支援センター内に移転し、また、大門児童館内において開所していた「いきいきサロン大門」を廃止することに伴い、関連する条例について所要の改正を行うものです。

**問** 条例には、この施設を構成する機能として大門児童館と大門地区センターの2つしか掲載されていないが、実際にはどうなのか。

**答** 1階には大門児童館及び大門地区センター子育て支援センターのほか、母子総合相談室、子どもの悩み総合相談室を配置し、2階には子育て支援センター、3階には幼児ことばの教室、子ども発達相談室を設置している。

公の施設条例を持っている2つの機能以外について条例に記載はないが、実施要綱等でこの施設の中で事業を展開する形式をとっており、それら自身は設置条例を持たず、改めて条例の中には記載していない点をご理解いただきたい。

## ■ 小杉社会福祉会館改修・改築工事による複合施設整備工事の間の使用は。

射水市の福祉の拠点とするとともに公共施設の機能集約・複合化を図るため、小杉社会福祉会館改修・改築工事による複合施設整備基本計画に基づき整備を進め、平成32年度の開館を目指すものです。

**問** 平成30、31年度で工事をする計画とのことだが、その間は管理棟を含め全く使えなくなるのか。

**答** ダンスやカローリング等については、近くの体育館などを利用いただけるよう到来年度早々からご案内をしていきたい。ボランティアサークルは、大島社会福祉センターにしばらくの間入っていただくことを検討している。射水社会福祉協議会小杉支所や老人クラブ連合会は大島社会福祉センター入れるよう調整を図ってまいりたい。

## 産業建設常任委員会

議案5件を可決すべきものとしました。  
所管事務について8件の報告を受けました。

### ■ 平成29年度射水市下水道事業会計予算（議案第6号）

収益的支出及び資本的支出の予算総額を79億303万1,000円とするものです。

**問** 平成27年度の下水道の使用料単価は153円、汚水処理原価は186円と汚水処理原価の方が上回っている。今後のそれぞれの単価設定の考え方について伺う。

**答** 汚水処理に係る経費の方が使用料収入を上回っており、使用料で賄えない分は、営業外収益である一般会計からの繰入金で補っている状況である。事業の経営健全化を図っていくために、使用料単価と汚水処理原価の差を縮めようとするれば、更なる経費削減が必要となり、将来的に、下水道使用料の改定も検討しなければならないが、現時点では、使用料の改定は見込んでいない。

- ※使用料単価 …… 有収水量1㎡あたりの下水道使用料の収入。  
使用料単価が上回っている場合、汚水処理に係る費用が下水道使用料によって賄われている状態です。
- ※汚水処理原価 …… 有収水量1㎡あたりの汚水処理費（維持管理費等）を示すものです。  
汚水処理原価が上回っている場合、下水道使用料以外の収益によって賄われている状態です。

### ■ 住宅等支援事業の新設及び拡充について

#### 【新設】三世代同居住宅支援事業（平成29年度～）

【補助要件】：次の①～④の要件を全て満たすこと

- ①親と子と孫、若しくは親と孫の同居世帯の住宅      ②既存住宅の増改築、リフォーム工事  
③工事費用の合計額が50万円以上                              ④市内業者が施工するもの

【補助額】：増改築、リフォーム工事費の5分の1（補助限度額30万円）

#### 【制度拡充】

- ・空き家対策支援事業（老朽危険空き家の解体除去及び跡地活用に係る費用の一部を補助するもの）
- ・指定宅地取得支援事業（市指定宅地を居住のために購入する場合に、土地購入費の一部を補助するもの）
- ・若者世帯定住促進家賃補助事業（若者世帯の市内転入等を促進するため、賃貸住宅家賃の一部を補助するもの）

**問** 市内に、三世代同居の世帯数はどれだけあるか。

**答** 平成27年度国勢調査では、市全体の世帯数32,115世帯のうち、三世代同居は14.7%、4,716世帯である。

**問** 拡充する事業について、平成28年度までの実績及び利用状況を伺う。

**答** 空き家対策支援事業は、平成26年度からの事業で、解体補助については、26年度16件、27年度15件、28年度32件と、順調に利用実績数が伸びている。

若者世帯定住促進家賃補助事業については、平成28年度からの事業であり、新婚世帯で1世帯、転入世帯で2世帯、合計3件の補助を行っている。



## ● 議会基本条例について ●

射水市議会では、開かれた議会を目指し、これまで議会改革に取り組んできました。

現在は、『議会基本条例』の制定に向け、議長を除く全議員で構成する「議会基本条例に関する特別委員会」（平成28年12月～）、さらに、委員会内に8名の委員で構成する「専門部会」を設け、集中的、専門的に検討を進めているところであり、これまで、2回の全体委員会と、6回の専門部会を開催しました。全体委員会及び専門部会では、検討すべき項目として、約40項目をリストアップし、順次協議しています。

検討の状況については、今後も「議会だより」でご紹介します。


### ● 議会基本条例とは・・・

議会の基本理念を示し、議会の在り方を市民に対し宣言するもの。

議会に関する他の条例や規則の最上位に位置する「最高規範」となるものです。議会基本条例の内容を見れば、その議会がどんな理念を持ち、どんな目標に向かって何に取り組むかが分かります。



## 編集後記

 石黒 善隆 議会広報編集委員

「子育てや学びがもっと楽しくなる射水へ 未来世代が輝くまち創造予算」と銘打った平成29年度当初予算が3月定例会で成立しました。子育て、教育、健康、地域経済の活性化など、本市のさらなる成長につながる地方創生への取組のほか、市民のみなさまの生活に直結する新たな予算も盛り込まれ、本会議や各委員会においては活発な議論が交わされました。今号では、委員会での審議内容が掲載されておりますのでご覧ください。

さて、射水市議会におきましては、昨年12月に議会基本条例に関する特別委員会を設置し、議会基本条例の策定に向け、射水市議会の今後のあり方をどうすべきか、現在、研究、議論を重ねております。市民に開かれた信頼される議会、また、より活性化した議会を目指し、今後とも取り組んでまいります。

## ● 議会広報編集委員会

【委員長】 高橋 久和 【副委員長】 島 正己

【委員】 竹内美津子、中村 文隆、石黒 善隆、瀧田 孝吉、吉野 省三、山崎 晋次

## 次の定例会は6月

会期日程は、決定次第ホームページに掲載いたします。

くわしくは、議事調査課 (Tel: 51-6610) までお問い合わせください。



## 議会を読もう

いみず市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を身近に感じてください。



## 議会を見学しよう

射水市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階議会事務局までお越しください。